

山口県農業委員会 女性協議会だより

スローガン この指と〜まれ!女性の絆で広い農地に未来の種まきを

発行/山口県農業委員会女性協議会
(事務局:(一社)山口県農業会議)

令和8年度改選でのさらなる女性の登用を目指して

本協議会では、本年7月改選の防府市、光市、山陽小野田市を訪問し、市長へは農業委員への女性登用を、農業委員会会長へは推進委員への女性登用について要望を実施しました。

また、令和8年度は3年に一度の統一改選の年でもあり、県下13市町で改選が行われる(統一改選以外の市町も含む)ことから、県下全域での支援、協力をいただくため、山口県農林水産部長へも要望を実施しました。

本県の女性の登用状況は、農業委員51名、登用率は20・1%となっており、これは全国で4位の登用率です。また、推進委員28名、登用率は7・5%でこちらは全国で6位です。

本協議会は今後もこの数字の維持はもちろんのこと、更なる女性登用を目指し、①全委員会へ複数の女性農業委員が登用されること、②全委員会に女性推進委員が登用されることを目標に掲げ、その達成に向けて、農業委員会活動の見える化と女性農業者等地域で活躍し輝く人材の掘り起こしに引き続き積極的に取り組んで参ります。また、せっかく委員へ就任しても短期で退任されると登用率はなかなか上がりません。本協議会では委員の任期継続に繋げることも目的に、研修会を始めとする活動で委員同士の連携や交流を図っています。



山陽小野田市農業委員会
田尾会長への要望



山陽小野田市
古川副市長への要望



光市農業委員会
田村会長への要望



光市
芳岡市長への要望



防府市農業委員会
藤井会長への要望



防府市
池田市長への要望



山口県農林水産部
岡本部長への要望

2市町で改選が行われました。

令和7年4月に、2市町で改選が行われました。その結果、岩国市で農業委員、推進委員ともに女性が1名ずつ増えました。県内の状況と全国での登用率についてまとめたものは表の通りです。女性登用にあたりご協力いただいた関係機関・団体等に感謝申し上げますとともに、今後ともご理解とご協力賜りますようお願いいたします。

農業委員・農地利用最適化推進委員数と女性委員登用率

令和8年1月現在

委員会名	農業委員			農地利用最適化推進委員		
	定数	女性	登用率	定数	女性	登用率
下関市	18	4	22.2%	40	5	12.5%
宇部市	18	4	22.2%	17	0	0.0%
山口市	19	3	15.8%	50	3	6.0%
萩市	19	4	21.1%	25	1	4.0%
防府市	18	4	22.2%	18	1	5.6%
下松市	8	3	37.5%	6	0	0.0%
岩国市	19	5	26.3%	48	6	12.5%
光市	12	1	8.3%	10	0	0.0%
長門市	19	5	26.3%	21	0	0.0%
柳井市	13	3	23.1%	21	0	0.0%
美祢市	19	2	10.5%	25	6	24.0%
周南市	19	4	21.1%	32	3	9.4%
山陽小野田市	14	3	21.4%	14	1	7.1%
周防大島町	14	2	14.3%	21	0	0.0%
上関町	6	1	16.7%	6	1	16.7%
田布施町	7	1	14.3%	7	0	0.0%
平生町	6	1	16.7%	6	1	16.7%
阿武町	6	1	16.7%	6	0	0.0%
合計	254	51	20.1%	373	28	7.5%

新任委員 です！



岩国市農業委員

迫田 瑞恵



岩国市推進委員

隅 美穂

農業委員に就任して

岩国市農業委員 迫田 瑞恵

令和7年4月に農業委員に就任しました。私の家は、父がJA退職後、現在(公財)やまぐち農林振興公社で農地集積推進員として岩国市内の農地を担当し、母は花栽培をし、稲や野菜を作っていたので、農業は身近な存在でした。

その影響で、フラワーデザイン専門学校へ進み、夢だった花屋に勤めていたものの、「花を売るより、作りたい!」と思いつき、結婚を機に、母の花作りを手伝うことにしました。花作りを始めて、20年経ちますが、農地のことは、ほとんど分からず農業委員になりました。毎月の総会に出席したり、現地確認していく中で、将来の子供達や地域のことを考えると、「いかに農地を農地のまま残していくのか」が、大切だと思いました。(5条申請より3条申請の方が嬉しくなります。)

これからは高齢化も進み、後継者や担い手の不足、耕作放棄地の増加等いろいろな問題がありますが、少しでも農地を守るお手伝いができたらと思っています。

農地利用最適化推進委員に就任して

岩国市農地利用最適化推進委員 隅 美穂

私は2001年主人と結婚後、岩国市本郷村で新規就農しました。当時、右も左もわからない私は地元で馴染むのに「苦労」でしたが農業で生活することだけを目標に主人と共に励んでいました。

少しずつ地元の方にも声を掛けていただき人を知り今では冗談を言い合える間柄になったり、こうして好きな農業が続けられていることに感謝です。

そして地元の方に応援してもらっていることを感じています。少しでも農業を通して地元役に立ちたいと思っていた時、この度、農地利用最適化推進委員のお話をいただきました。

私達も、就農に当たり就農場所、農地の確保と当時の役場のみならず、農業委員の方々にお世話になり今があります。農地を地元の方からお借りできるからこそ農業が出来ること、感謝を忘れてはいけません。

管理する農地も広がりましたが管理が行き届かない現状を打開したいと新たに機械を導入し作業の効率化を図り徐々に農地を耕し作物を栽培しつつあります。これからは推進委員として地域全体の農地に目を向けて情報収集し農地を守り次の担い手への橋渡しができるように励んでいきたいと思っています。

山口県農業委員会女性協議会 第1回研修会を開きました。

12月3日(水)山口市「防長苑」で第1回研修会を開きました。

研修会には57名が出席し、まず一般社団法人全国農業会議所農地・組織対策部の鈴木雄斗主事からは「女性委員の登用の現状と課題について」と題して講演をいただきました。

また、中国四国農政局山口県拠点の松下武昭地方参事官からは「農業分野における女性活躍について」と題して講演をいただきました。

その後は、中国四国農政局山口県拠点及び一般社団法人全国農業会議所との意見交換会を実施しました。会員からは女性委員の登用促進に向けた率直な意見が次々に высказаны、活発な意見交換となりました。



鈴木主事からの講演



松下地方参事官からの講演



意見交換会



令和7年度山口県農業委員会 女性協議会第1回研修会

2025年度中国四国ブロック 農業委員会女性委員研修会に参加しました。

山口県農業委員会女性協議会は、11月6日(木)～7日(金)、徳島県徳島市「徳島グランヴィリオホテル」で開かれた中国四国ブロック農業委員会女性委員研修会へ13名で参加しました。中国四国ブロックの女性農業委員・推進委員等約250名が集まりました。

研修会は、徳島県農業委員会女性協議会の活動報告や女性委員の事例発表があった後、日本食育学会常務理事の勝野美江氏から「女性が活躍する社会の実現について」と題して講演がありました。

また、2日目には10名程度に分かれたグループディスカッションがあり、それぞれがテーマに沿って意見交換をしました。

令和8年度は島根県出雲市で11月5日～6日に開催予定です。また、令和10年度には山口県で開催予定です。



勝野美江常務理事の講演



グループワークの様子



山口県農業委員会女性協議会 ブロック別研修会を開きました。

山口県農業委員会女性協議会では毎年、県内を3ブロックに分けたブロック別研修会を開催しています。本研修会は主に会員同士の意見交換の場としており、今年は、東部ブロックは上関町で9月18日(木)、中部ブロックは山口市で10月1日(水)、西部ブロックは山陽小野田市で10月22日(水)に開催しました。

研修会では、安部会長から「協議会の概要と女性農業委員・農地利用最適化推進委員の登用に向けた取り組み」について説明があった後、開催市町の農業委員会の取り組みの発表がありました。それからは7名程度に分かれた意見交換会を実施しました。昨年度までは参加者全体での意見交換としていましたが、今年度から、より率直な意見交換とするため新たに取り組みました。



研修風景



事例発表



東部ブロック (下松市、岩国市、光市、柳井市、周防大島町、上関町、田布施町、平生町)



中部ブロック (山口市、萩市、防府市、周南市、阿武町)



西部ブロック (下関市、宇部市、長門市、美祢市、山陽小野田市)



中国四国ブロック研修会に
参加して
野村 和枝
(美祿市推進委員)

私は、推進委員になって、3年になりますが、いつも日程が合わずに今回初めて、徳島県で開催された中国四国ブロック農業委員会女性委員研修会に参加する事ができました。

徳島県までは、長い道のりです。車中では初めてお会いする方がほとんどでしたけど、皆さん気さくで、話しも弾んで楽しい時間を過ごし、無事会場に到着しました。

すぐに研修が始まり、今まで他県の方との交流の場に、あまり出席する機会が無かった私ですが、徳島県の女性委員ならではの、活動報告と事例発表、とても勉強になりました。自分も、女性委員ならではの視点で、出来る事から頑張ろうと思いました。

そして、今年の講師は日本食育学会常務理事勝野美江先生で「女性が活躍する社会の実現について」講習がありました。

私は、先生のお話しの中で特に、ユネスコ無形文化遺産に、2013年に和食文化が、2024年に伝統的酒造りが登録されていて世界でその国の食そのものが文化として登録されている中に、日本食のおせちが入っているそうで、世界に認められた日本食に、改めて感動しました。11月は和食月間で11月24日は和食日だそうです。

2日目は、8名のグループに分かれて、それぞれの活動報告、意見交換しました。

今回、研修会に参加したからこそ、得た知識があり、新しい仲間との出会いがあり、かけがえない事だと思っています。皆さんと一緒に踊った阿波踊り、忘れられません。楽しかったです。

令和8年度の中国四国ブロック研修会は、島根県の出雲市の予定です。皆さん、さらなる知識向上、新しい出会いを楽しめる時間を、是非一緒に参加して、過(こ)しまし(ま)しょう！



6次産業化を目指して第歩を
吉武 和子
(山口市農業委員)

山口市農業委員会には女性委員が6名、農業委員3名、推進委員3名所属しています。

中立委員の私を除いて委員の皆さんは山口市の各地で農業を営まれており、稲作はもとより、やまのいも、ブルーベリー等、特色ある農産物の生産者でもあります。

これまで、女性委員での研修として、委員や女性農業者の経営訪問等実施されてきましたが、荒瀬職務代理さんの、「それぞれが生産している特徴ある産物と、知恵や技を活かして、委員として何か作ってみようじゃない」との発言をうけ、みんなが「やろうね」と6次産業化とはおこがましいですが意気込みは高らかに取組を進めることにしました。

手始めに、米粉やまのいも、ブルーベリーを材料として何か作ろうと集まり、「山口版かるかん」の試作を行いました。

試作では、さすが主婦歴うん十年、持参されたレシピを参考にそれぞれが作業分担を自然に行い、和気藹々と時間も忘れて初めての共同作で完成した「かるかん」を試食したときは、みな達成感に包まれました。本当に共同作業第一歩でしたが、今後とも協議を続けより良い産物ができるように頑張っていきたいと思えます。



活動報告

ブロック別研修会の開催

東部…令和7年9月18日 上関町26名
中部…令和7年10月1日 山口市28名
西部…令和7年10月22日 山陽小野田市25名

第1回研修会の開催

令和7年12月3日 山口市57名

県外の研修会等への出席

- ①令和7年度中国四国ブロック農業委員会女性委員研修会
令和7年11月6日～7日 徳島県徳島市 出席者245名 山口県13名
- ②令和8年度女性の委員登用促進研修会
令和8年1月21日～22日 東京都 出席者116名(山口県2名)
- ③第16回全国農業委員会女性協議会総会
令和8年1月22日 東京都 出席者82名(山口県2名)
- ④第21回女性の農業委員会活動推進シンポジウム
令和8年3月4日 東京都 出席者538名(山口県9名)
- ⑤女性委員の活動推進に向けた研修会
令和8年3月5日 東京都 出席者39名(山口県9名)

令和7年度山口県農山漁村女性連携会議への出席

令和7年8月6日 令和8年2月17日 山口市

役員会の開催

令和7年6月4日、12月3日、令和8年2月25日 山口市

会長 安部好恵氏が、令和8年2月2日に急逝されました。謹んで哀悼の意を表します。

山口県農業委員会 女性協議会について

趣旨

農業・農村における男女共同参画の推進、女性の視点を活かした農業振興、次世代にとって魅力のある農村作りなどを目指し、県下の女性農業委員及び農地利用最適化推進委員が交流・連携を深め地域の女性指導者としての資質向上を図ることを目的としています。

経緯

平成21年3月17日に発足し、平成30年3月23日に新たに農地利用最適化推進委員を会員として迎えたことから、現在の山口県農業委員会女性協議会に名称を変更しました。会員数78名。

役員

会長・中川恵美子(山口市)
副会長・橋本恵里(岩国市)
理事・藤中京子(岩国市)
河野八千代(長門市)
大田恵子(周南市)
田村恭子(山陽小野田市)
沖田浪子(上関町)
監事・縄田加奈江(宇部市)
伊藤佐登子(阿武町)

事務局…(一社)山口県農業会議
電話083-6263-2102